

尼崎 21 世紀の森構想エリアツアー 開催結果

1. 企画名

尼崎 21 世紀の森構想エリアツアー

2. 主旨

尼崎 21 世紀の森構想エリア内の施設利用の促進を目的とし、平日を中心とした福祉施設の利用を試行する。

3. 開催日時

令和 5 年 10 月 26 日（木） 13:00～15:00

4. 開催場所

尼崎の森中央緑地パークセンター
北堀運河キャナルベース

5. 参加者

一羊会すずかけ作業所入所者 5 名、作業所スタッフ 3 名、計 8 名

6. プログラム内容

13:00～13:50 尼崎の森中央緑地

- ・ 講師：尼崎の森中央緑地パークセンター
- ・ 絞り染め体験
- ・ 森のおもちゃ箱（けん玉、コマなど）

13:50～14:15 移動

14:15～15:00 北堀キャナルベース

- ・ 講師：中岡禎雄氏／尼崎ネイチャークラブ
- ・ 水槽に入れた生き物観察
- ・ 菜種油づくりの見学



当日の様子

7. 今後の展開に向けた課題等

(1) 振り返り会での主な意見

■尼崎の森中央緑地での体験について

- 絞り染め体験は、手先を使う簡単な内容で時間もちょうど良く、楽しんでもらうことができた。
- 中央緑地には、見たり触れたりできる、感覚で楽しめる自然の要素が多いため、福祉プログラムの場として利用しやすい。刺激が多いまちなかとは違い、静かで落ち着く環境のため、不安やストレスを感じにくい。
- 広々として見通しが良く、スタッフの目が行き届きやすいため利用しやすい。

■北堀運河キャナルベースでの体験について

- 生きもの観察の内容は、魚の観察など、五感を使って楽しめるもので参加者の反応も良かった。
- 循環に関する説明は移動を挟んで全体の後半だったため、集中力が続かなかった。

■今後の展開について

- 人によって支援が必要な程度や、興味の対象が異なるため、感覚的に楽しむことができ、また、人によって選択できるものがよい。
- 支援カリキュラムの一つとして、意思決定支援という考え方がある。あらかじめ材料や手順が決められたものよりも、選択肢がある方が意思決定支援にも繋がるので、ありがたい。
- 中央緑地の自然環境をいかして、例えばドングリなどの自然のものを拾ってきて、それを材料にしたクラフトなども楽しめると思う。

(2) エリアツアーの実施結果

エリアツアーの実施および振り返り会を通じて、エリアツアーの展開に向けた課題や、福祉系プログラムの展開に向けた知見を以下の通り得ることができた。

①エリアツアーの展開について

- 中央緑地とキャナルベースの2箇所を巡る形で実施したが、移動も含めて全体の時間が長くなり集中力が続かなかった。そのため、1日1箇所を複数日に分けて実施するなど、時間や体力面で無理のない方法も検討する必要があることがわかった。

②福祉系プログラムの展開について

- 中央緑地、キャナルベースともに、実際に触れて五感で楽しめる要素があることは、福祉系プログラムの展開に向けて魅力となることがわかった。
- 支援が必要な程度は人によって様々であるため、五感を使って楽しめるプログラムが複数用意され、その中から選択できることが望ましいことがわかった。

(3) 今後の予定について

- 参加意向のあった一羊会の他施設での実施や、その他の福祉施設等を対象とした体験プログラムの実施に引き続き取り組む。